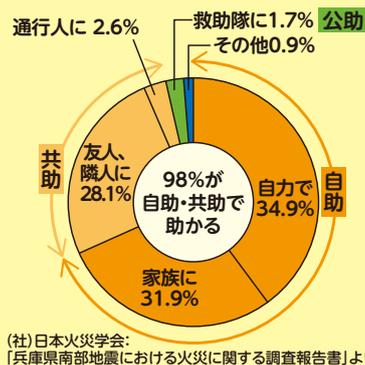


阪神・淡路大震災から23年

○自助・共助で生き延びる

阪神・淡路大震災では、生き埋めになって救助された人のうち、98%が自分の力や家族、近隣の方などの力によって助かりました。



やってみよう!

家族で防災会議を開いて話し合おう!!

- 災害発生時の家族みんなの役割を決定!
- 家の内外の危険箇所をチェック!
- 「非常持ち出し品」「非常備蓄品」をチェック!

- 防災用具(消火器や救急箱)をチェック!
- 避難場所や集合場所、連絡方法を決めてカードにしましょう!
- 避難場所や避難路などを確認し、わが家の防災マップを作りましょう!

地域の防災活動に参加しよう!!

- 実際の災害を想定した防災訓練に参加して対処法を身につけましょう!
- 地図に避難する道や危険な場所を書き込み、地域の「強み」と「弱み」を知りましょう!
- 地図上で考えた「強み」と「弱み」を実際にまちを歩いて確認しましょう!

- 歩いて確認した内容を地図にさらに記入し地域の防災マップを作りましょう!
- 地域の特性に応じた役割や、具体的な避難方法などを決めましょう!



配布もしています)



行ってみよう!

大阪市立阿倍野防災センター

阿倍野区阿倍野筋3-13-23 あべのフォルサ3階
☎6643-1031 ☎6643-1040



地震発生直後の街並みなどを体感し、消火・避難・救助といった一連の行動をリアルに体験することができる施設です。あなた自身や家族を守り、街を守り、人を助けることができる「体験」を通じて災害について考え、学んでみませんか?